

第507回（3月定例）福崎町議会

福崎町長 尾 崎 吉 晴

皆様おはようございます。第507回福崎町議会定例会を招集いたしましたところ、全員のご出席を賜り誠にありがとうございます。

令和5年3月議会の開会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

来週は、暦の上では啓蟄けいちつでございます。春の温かさを感じて冬ごもりをしていた虫たちが外に出てくるという時期でございます。まだ、寒い日もありますが、日差しに暖かさが感じられるようになってきました。これからは、三寒四温を繰り返しながら本格的な春に向かって進んでいくことを楽しみにしています。

新型コロナウイルス感染症につきましては、第8波も大分落ち着いてきたように見えます。岸田首相は、5月8日から感染法上の位置づけを2類相当から5類へ引き下げると発表されました。今後の対応についてはさまざまな検討がなされるものと思いますが、日常生活や社会経済活動の正常化に向けて大きく前進するのではないかと期待しています。医療費の公費負担やワクチン接種など、今後の国、県の方針を注視しつつ、住民の皆様への周知について、しっかり取り組んでいきます。

ロシアがウクライナに侵攻してから1年がたちます。戦況は膠着状況のように見えますが、この戦争により原油をはじめ原材料費が高騰、物価は上昇し世界の経済活動や私たちの生活は大きな影響を受けています。また、ロシアの天然ガスの世界各国への輸出が滞ることによって石炭・石油の使用量が増加しているとのことで、地球温暖化防止対策の遅れにもつながらないか、心配が尽きないところです。世界の指導者には、一刻も早い戦争の終結に向けて手を尽くしていただきたいと望むものです。

さて、本議会におきましては多くの重要な議案を提出していますが、とりわけ3月議会は、令和5年度の福崎町の設計図となる予算を提案し審議していただく場ですので、来年度予算についての私の思いを述べさせていただきます。

当初予算の主要な施策の1点目は、総合計画の見直しです。第5次総合計画の期間が残すところあと1年となりましたが、この10年間で世の中は大きく変わりました。新たに令和6年度を初年度とする計画を、住民、産業界、議会の皆様との参画と協働で進めていきます。総合計画は今後10年の道しるべです。進むべき方向を間違えると大きなロスになりますので、総合計画審議会やまちづくり委員会などの意見を聞きながら、福崎町

の将来の道筋をしっかりとつけていきたいと考えています。その中でも大きな課題は人口減少・少子高齢化です。福崎町の令和4年1月～12月の出生者数は106名にとどまりました。前年比32名の減です。今の時代、人口減少もある程度は受け入れざるを得ないように思いますが、交流人口、関係人口の増加で人口減少を補う視点も必要かと考えています。また、SDGsの視点を取り入れることも必要になってくると考えています。

2点目は、教育環境の充実と子育て支援です。教育環境の充実については福崎小学校、高岡小学校及び八千種小学校のトイレ改修工事を行い、子どもたちに快適な教育環境を提供します。子育て支援については、給食材料費の値上がり分を町で補填する予算とし、給食費は据え置きます。また、不妊治療が保険適用になりましたが、さらに不妊治療のご家庭を支援するために治療費の自己負担分の1/2を助成します。浄化センターの修景施設に整備している公園は、大型複合遊具を設置中です。令和5年度は日よけ施設や女子トイレ、多目的トイレを設置する計画です。

3点目は、災害に強い安全安心のまちづくりです。気候変動の影響で台風は大型化、集中豪雨が頻発化・激甚化しています。町内には、大雨が降ると冠水しやすい場所があります。町民を水害から守るために、南田原地区で川すそ雨水幹線工事、福田地区で直谷第2雨水幹線工事を進めます。その他では、緊急浚渫推進事業で町河川の土砂撤去を進めるとともに、県河川である市川、七種川などの浚渫についても要望を行っていきます。

4点目は、都市計画の緩和を進めます。令和5年度は特別指定区域の見直しを行います。10年以上住んでいた方が、地元に戻ることができる地縁者住宅に加えて、誰でも住むことができる新規居住者区域の見直しを、自治会の要望を聞きながら進めます。また、今議会において「福崎町空き家等の適正な管理に関する条例の一部を改正する条例について」を提案していますが、これは総合的な空き家対策を進めるための空き家対策計画を作成するために必要な条例改正です。今後は、空き家対策の規制緩和にも取り組みます。

5点目は、JR福崎駅へのアクセス道路の強化です。県道甘地福崎線は県と一体となって道路拡幅工事を進めています。町道福崎駅田原線、町道千束新町線の道路改良工事を着実に進め、駅前、馬田地区に広がる農地の有効利用を図ります。

本議会に提出する令和5年度予算は、第5次総合計画の実現をめざし、災害に強い、子どもから高齢者までみんなが安心して暮らせるまちづくりのための予算を提案しています。

一般会計予算の総額は86億3,000万円で、対前年度比4億1,400万円、率にして5.0%

の増となりました。特別会計を合わせた総額は、対前年度比3億4,573万円、率にして2.3%の増となる153億1,063万円としています。

各課が取り組む主な事業は次のとおりです。

【総務課】です。

職員の定年の段階的引き上げと役職定年制の導入等を令和5年度から施行し、適正な執行及び人事管理を進めます。また、令和2年度から導入された会計年度任用職員制度において、勤勉手当の支給など制度改正の動きがあることから、令和5年度において必要な改正を行います。

令和5年4月から各自治体に適用される新個人情報保護法に対応するため、今議会に提案している「個人情報保護法施行条例」の事務執行にあたり、個人情報の適正な取り扱いに係る管理体制の構築、個人情報安全管理措置の策定及び既定の情報セキュリティポリシーの改定を進めます。

ICカードによる出退勤管理システムの導入により、職員の個人情報を保護し、あわせて休日夜間の庁舎のセキュリティ向上を進めます。

任期満了に伴う兵庫県議会議員選挙及び福崎町長選挙について、正確で公平・公正な執行を図ります。

友好都市岩手県遠野市との交流事業は、遠野市産業まつり及び福崎秋まつりにおいて、それぞれの特産物の販売を行い、文化、教育、観光の各分野で交流を継続し、友好の絆を深めます。

【企画財政課】です。福崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）について、継続してアクションプランに掲げた取組みの成果の検証と、社会情勢の変化に応じた見直しを行います。

デジタル化の推進について、行政手続のオンライン化を引き続き進めるとともに、地方公共団体情報システム標準化に向けたシステム改修を行います。また、庁舎内ネットワーク機器等の更新を行い、情報ネットワークのセキュリティ強化及び利用拡大を図ります。

【税務課】では、貴重な自主財源である町税において、税目ごとの課税客体の的確な把握と課税に努めます。

あわせて国税徴収法・地方税法・町税条例並びに債権管理条例などの規定に基づき、適正な滞納整理、債権管理を行うことにより、徴収率の一層の向上をめざします。

これまでコンビニエンスストアでの納付や、スマホアプリを使った決済を導入し、納税者の利便性向上に努めています。さらに、納税環境の整備に向け、令和5年4月から「地方税統一QRコード」を用いた仕組みを導入し、^{エルタックス}eLTAX操作による電子納付等にも対応していきます。

【地域振興課】では、新型コロナウイルスの対応の見直しに合わせて各種イベントを開催し、地域を元気に盛り上げます。4月1日には4年ぶりとなる民俗辻広場まつりを開催します。夏まつりは花火と総おどりや夜店の出店など、秋まつりは文化講演会や商工会によるステージイベントなど通常開催します。また、新しい取り組みとして手話ダンス事業などの地域活性化イベントを開催し、関係人口・交流人口の増加を図ります。

ふるさと応援寄附金事業では、企業版ふるさと納税制度を活用した新たな自主財源の確保に努めます。

文珠荘事業では、快適で楽しく利用できる憩いの場を提供できるよう、老朽化した浴場施設の配管更新や浴槽防水など、リニューアル工事を実施します。

商工業振興では、コロナ禍やウクライナ問題によるエネルギー・原材料の高騰によって大きな影響を受けている地域の中小企業・小規模事業者に対して、福崎町商工会と連携し支援に努めます。新たな事業として、町内で創業（起業）を行う者に対して100万円を上限とする創業支援補助金を創設し商工業の振興や移住定住を促進します。西部工業団地については、事業手法などの検討を進めます。

観光振興では、駅前・辻川観光交流センターを拠点とした賑わいづくりや観光アプリ、ガジ^{ポッド}及びe^{イー}バイクなどを活用した誘客・周遊観光の促進を図ります。新たに観光PR動画の作成やコンシェルジュガイドブックを更新し、更なる観光情報の発信に取り組めます。七種山周辺では太鼓橋の修繕、登山道西コースの立木伐採、春日山では案内看板の設置やイベント開催などに取り組めます。

【住民生活課】です。町民が安全で安心に暮らせるように、福崎警察署の協力を得ながら福崎町防犯指導委員会等との連携を図り、防犯活動を進めます。また、通学路の安全確保のため防犯灯の設置を進めます。

交通安全対策では、通学路のカラー塗装など通学路危険箇所の改善に努めるとともに、標識や啓発看板等の設置、凍結防止ミラーを計画的に設置します。

町営住宅では、空き家になった町営住宅を計画的に撤去し、令和4年度に改定した公営住宅長寿命化計画に沿って、テレビ共聴設備改修工事を行います。

窓口では、住民票などのコンビニ交付サービスのPRを図るとともに、個人番号カード用の写真撮影や休日の申請受付を行うなど、取得促進を図ります。また、窓口番号発行案内システムを導入し、窓口混雑の緩和を図ります。

環境衛生については、現在進めている神崎郡3町での次期ごみ処理施設建設に向け、用地取得に着手します。くれさかクリーンセンターにおいては、積み替え運搬による姫路市へのごみ焼却委託を継続しながら、事務組合のあり方について姫路市と協議を進めます。

消防業務は、中播消防署建替について協議を進め、事業化を図ります。また、消防団員の定数を見直すため検討委員会を設置し、協議・検討をおこないます。

【福祉課】では、障害福祉について、障害者総合支援法に基づき、福祉サービスや相談支援について令和6年度からの3年間の見込みを計画する第7期障害福祉計画を策定します。

また、基幹相談支援センター事業では、新たに、生きづらさをかかえ引きこもり状態にある人の支援として、大人の居場所づくり事業に取り組みます。

巡回バス事業では、現行の運行体制を維持しつつ、さらなる利用の向上に努めます。

介護保険事業では、高齢者を取り巻く環境の変化による課題を反映し、令和6年度からの3年間の見込みを計画する第9期ゴールドサルビアプラン（高齢者福祉計画・介護保険事業計画）を策定します。

【ほけん年金課】です。福祉医療助成事業では、子育て世代支援のため、引き続き所得制限を設けず、18歳までの入通院の医療費無料化を実施します。

妊娠期から出産子育てまで一貫して相談支援や経済的支援を行う「妊娠子育て応援給付金事業」を引き続き実施します。

食育推進事業では、子どもの食への関心を高めるため、小学生高学年、中学生を対象に「朝ご飯コンテスト」を行います。また、幼児期から楽しく食育を学び、食に興味・関心を持ってもらうよう、認定こども園の園児及びその保護者を対象に食育教室を実施します。

町ぐるみ健診の受診率向上と若い世代の健康意識の向上のため、国民健康保険の被保険者及び39歳以下の特定健診・基本健診の負担金を無料とします。

【農林振興課】です。地域における「めざすべき将来の農地利用の姿を明確化する」地域計画は、農業委員会がこの取り組みの出発点となる「目標地図」の素案を作成し、町が農業者等による話し合いを踏まえ、策定します。令和5年度は、実質化した人・農地プランが既に策定されている18集落での策定をめざします。なお、農業委員12名・農地利用最適化推進委員6名の任期は令和5年7月19日までのため、改選されます。

営農対策推進協議会は、令和4年度末で活動を終了し解散します。当協議会で行っていた各種事業は、町及びJAの事業として引き継ぎ、町事業として営農活動等支援事業を新設します。

高齢化・後継者不足が進行する中で、将来にわたり、福崎町農業の担い手となる人材を支援するため、新規就農支援事業を創設します。

農業構造改善施設運営事業では、春日キャンプ場のバンガロー1棟を解体し、森林環境譲与税基金を活用し、テントサイトデッキを新設します。

農地基盤整備では、高岡福田ほ場整備事業を推進するとともに、山崎地区ほ場整備事業の令和6年度採択をめざして協議を進めます。ため池整備事業では、震災対策として、(板坂)三谷池の工事を推進するとともに、防災重点農業用ため池(山崎)直谷池についても、事業推進を図ります。

国土調査では、山林の地籍調査を引き続き推進します。

【まちづくり課】です。道路整備では、新規事業として、通学児童などの安全対策のため、町道大貫山田線の道路改良事業を実施します。また、町道新町西治線の舗装修繕や各集落内の道路の改修及び通行に支障をきたす危険箇所の解消に向けて整備を進めます。道路付属物の安全対策として、道路照明や道路案内標識の点検を実施します。

橋梁整備事業では、町管理の209橋に係る長寿命化修繕計画を、5か年ごとの見直しにより更新します。また、跨線橋1橋、歩道橋1橋の補修工事を実施するとともに、9橋の定期点検を実施します。

河川整備事業では、河川美化事業として、県河川である市川、七種川の草刈り等を実施します。

都市計画、まちづくり事業では、地域公共交通網形成計画に基づき、コミュニティバスサルビア号やふくひめ号の充実等に取り組みます。

公園管理事業は、住民の憩いの場となる公園の適正な管理に努めます。

住宅管理事業では、空家の有効活用を図るため、引き続き「空家等情報バンク」への登

録のPRを行います。「空家等の適正な管理に関する条例」に基づき、空家等対策協議会と協議しながら、特定空家に対し、適正に指導・助言に併せ、勧告等を行います。

【上下水道課】です。水道事業では、水道管路の耐震化を目的に、老朽化した三ノ宮配水池送配水管の更新工事を行います。また、市川を横断して八反田地区と西治地区を連絡する「八反田水管橋」の更新工事のための詳細設計を行います。管理部門においては、上下水道事業審議会を立ち上げ、上水道の料金体系、工業用水道及び下水道の料金水準の適正化について諮問します。

下水道事業の汚水整備では、前年度に引き続き、福崎浄化センターにおいて、ストックマネジメント計画に基づく「膜カートリッジ更新工事」を行います。また、老朽化したマンホールポンプ通報装置の改築工事を行います。

【学校教育課】です。幼保連携型認定こども園公立幼稚園4園、私立こども園が連携して就学前保育・教育の充実に取り組みます。公立幼稚園においては、ネットワーク環境を整備し、保育業務支援システムを導入するなどICT化の推進に取り組むことにより、保育教諭の業務負担軽減と利用保護者の利便性の向上に努めます。

小中学校の特別教室等のエアコン設置工事について、実施設計を行います。

中学校の休日部活動の地域移行に対して、各種スポーツ団体等と連携協議しながら取り組みます。

文部科学省の「^ギIGA^ガスクール構想」で整備したデジタル端末や授業支援ソフトを有効に活用しながら新しい時代の学校教育を推進します。

小中学校に学校教育指導員、不登校指導員、学習支援員、介助員、スクールカウンセラーを引き続き配置するとともに、スクールソーシャルワーカーによる福祉の視点でのサポートにより教育課題の解決に取り組みます。

幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携により、小1プロブレム、中1ギャップへの対応の取り組みを続けます。

遠野市との友好都市共同宣言による児童交流事業を継続して実施します。

給食共同調理センターでは、調理及び配送業務を民間委託し、官民連携の利点を活かした安全安心な学校給食に努めています。令和5年度では業者選定を行い、令和6年度からの新たな委託業者を決定します。

【社会教育課】では、男女共同参画社会・女性活躍を推進するため、「(仮称)ふくさき

女性応援ねっと」の設立を支援します。

第44回山桃忌は、「家族—松岡家からみる父と母—」をテーマに講演会やシンポジウム、また、民俗芸能「伝統話芸 講談」の披露により『柳田國男生誕の地 福崎町』を発信します。

柳田國男・松岡家記念館では、山桃忌のテーマに沿った柳田國男の父母「松岡操・たけ展」と題した企画展を、歴史民俗資料館では、「福崎の歴史文化遺産伝承にむけて」をテーマとした連続講座や企画展、特別展を開催します。

文化財保存活用地域計画に基づき、歴史文化を保存・継承するための取り組みを推進します。

埋蔵文化財事業では、昨年度に引き続き高岡・福田地区ほ場整備事業の本調査に取り組みます。

図書館では、「福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）」の初年度にあたり、従来の取り組みに加えて、学校図書室との連携強化を図り、「読書おもいで帳」の交付など、子どもたちに読書習慣が身につくよう各種事業に取り組みます。また、図書館応援隊の活動を支援し、図書館を基点としたコミュニティ活動の活性化を図ります。

文化センターでは、老人大学に新たに健康科学の専門講座を開設し、高齢者の生きがいと健康づくりを支援します。

エルデホールでは、メインホールと屋外の芝生広場の一体的利用など、より幅広いニーズに対応ができる施設の活用方法の検討を行います。

体育館では、多くの方々がスポーツに親しみ、健康増進や競技水準の向上が図れるように各種スポーツ大会や健康教室を開催し、健康維持・増進やコミュニケーション活動の機会作りに取り組みます。

さて、今議会に提出いたします議案は28件です。

(略)

以上、条例制定が3件、条例改正が12件、予算では、補正予算、当初予算あわせて12件、その他1件の全28件となっています。

詳細説明は担当課長が行いますので、ご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げます、所信表明といたします。